

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	南医療生活協同組合
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	名古屋市緑区南大高二丁目204番地
工場等の名称	総合病院 南生協病院
工場等の所在地	名古屋市緑区南大高二丁目204番地
業 種	医療、福祉
業務部門における 建築物の主たる用途	病院・医療関連施設
建築物の所有形態	自社ビル等(自ら所有し自ら使用している建築物)
事業の概要	医療業 一般病院
計 画 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和6年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公 表 期 間	～		
公 表 方 法	○	掲 示 閲 覧	(場 所) 総合病院 南生協病院ふれあいルーム
		ホ ー ム ペ ー ジ	(HPアドレス) https://www.minami-hp.jp/
		冊 子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	052-625-0373		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

当院は地球温暖化対策をはじめとする地球環境保全の重要性を認識し、事業活動のあらゆる分野を通じて、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

1) 継続的な環境改善

P D C Aサイクルに基づく環境施策の継続的な改善をはかります。

2) 省資源・省エネルギー活動の推進

南生協病院で使用する電気、燃料等のエネルギー使用を令和5年度までに令和2年度比2%削減します。

3) 廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進

廃棄物の発生を抑制します。

4) 職員への環境教育と外部への環境コミュニケーションの推進

職員に対しては環境教育をすすめ、外部に対しては環境情報の公開を進めます。

(2) 地球温暖化対策の推進体制

総合病院 南生協病院 地球環境委員会

委員長：院長

副委員長：事務長

委員：副院長、事務次長、医局事務局長、総看護課長、副総看護課長



環境行動推進会議

議長：庶務課課長

環境行動推進員：各課科長



全職員

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 3 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		3,128	t-CO ₂
(温室①を酸効除炭ガス換算)	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	3,128	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 2 年度		令和 5 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
温室効果ガス総排出量	3,085	t-CO ₂	3,024	t-CO ₂	3,128	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）			2.0	%	▲ 1.4	%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 2 年度		令和 5 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
原単位あたりの排出量										
削減率（対基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりのみなし排出量										
削減率（対基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

基準年度(令和2年度)はコロナの流行で大幅に患者さんの来院数が減少しました。令和3年度は省エネに努めましたが来院患者数が復活したため、エネルギー使用量が相対的に増えてしまいました。令和4年度、令和5年度も同様の傾向が続くと思われます。昨年秋に冷温水発生器1号機(冷房メイン)をオーバーホールしたため令和4年度は冷房運転の省エネルギー運転が期待できます。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源 の行動実践・冷暖房	・ビルマルチエアコンの省エネ運転 室外機能力を約80%をピークとする 運転を行うよう設定。 (夏場の冷房運転時、有効)	運用の継続	運用を継続しました。
省エネルギー・省資源 の行動実践・冷暖房	・共有エリアのエアコン室内機消し忘れ処 置 共有エリアのエアコンでタイマー機能を 活用。 一定時間後にOFFするように設定。	運用の継続	運用を継続しました。
省エネルギー・省資源 の行動実践・冷暖房	・使用していない部屋や昼休み 時間外の消灯を徹底する。 ・廊下等で可能な所は蛍光灯の間引きを 実施する。 ・エントランスホール晴天のときは 消灯する。	運用の継続	運用を継続しました。
省エネルギー・省資源 の行動実践・冷暖房	・パソコン・コピー機の離席時 退出時のスイッチオフを徹底する。 ・パソコンディスプレイの輝度を下げる。	運用の継続	運用を継続しました。
省エネルギー・省資源 の行動実践・冷暖房	・階段使用の意識付け(資料の掲示) 2アップ3ダウン活動の励行 【例】 2アップ: 1階→3階は階段使用 3ダウン: 4階→1階は階段使用	エレベーター前 の掲示を継続す る。	運用を継続しました。
省エネルギー・省資源 の行動実践・照明	蛍光灯等の照明をLED化する。(平成31年度 完了)	約7000本の蛍光 灯他各種照明を LED化。	LED照明の運用を継続しました。
省エネルギー・省資源 の行動実践・冷暖房	令和3年度 病室のエアコンを更新する。	室内機×285台 室外機×183台	病室エアコンの運用を継続しま した。
省エネルギー・省資源 の行動実践・冷暖房	冷温水発生器1号機(冷房メイン)をオーバー ホール実施。(省エネルギー運転の運用が可 能)。	夏季の冷温水発 生器1号機重点 運用	冷温水発生器1号機重点運用中 です。

指針第 2 号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目（令和 3 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 1 年度目（令和 3 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

・職員への環境教育を定期的実施する。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

・ノー残業に努める。	・夜間エレベーターの運転台数を控える。
・自動車の利用を控える。	・可能な範囲で消灯する。